

## 新年のご挨拶

院長 松島 聡

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

さて、済生会明和病院は、国立療養所明星病院の移譲を受け平成10年に開設されました。地域の皆様に良質な医療を提供すべく日々努力を続けてまいりましたが、早いもので今年で20周年を迎えます。人であれば成人式を迎えるこの年を、地域の皆様とともに有意義な一年にしたいと職員一同、願っております。本年も宜しくお願い申し上げます。

当院は、移譲当初は療養型の病院でしたが、平成16年より回復期リハビリテーション病棟をスタートさせ、現在では、三重県下最大規模のリハビリテーション病院として、回復期リハビリテーション病棟4病棟180床と一般病棟34床で運営しています。

また、病院を軸として、重症心身障害児(者)施設である「なでしこ」、特別養護老人ホーム「明和苑」、訪問看護、訪問リハビリ、通所リハビリ（デイケア）、通所介護（デイサービス）、居宅介護支援センター等を併設し、「済生会明和グループ」として医療・福祉・介護を総合的に扱う施設となっています。急性期から地域（在宅）への橋渡し役であるとともに、地域の医療・福祉・介護の拠点として、地域の行政、医療、福祉・介護施設との連携・調整役を果たしていきたいと願っております。

一方、地域の皆様の健康を守るべく、昨年外來体制の充実をめざしました。その結果、5月に眼科、10月には泌尿器科の常勤医師が赴任し、外來日を増やすことができました（眼科は月曜から金曜まで毎日、泌尿器科は月午前、火午後、木午前）。また、消化器外科では胃や大腸の内視鏡検査を積極的に行っております。その他、内科、呼吸器内科、神経内科、整形外科、脳神経外科の外來診療を行っており、MRI、CT、エコー検査などが可能となっております。さらに、3人の脳神経外科専門医が常勤している利点を生かし、今年4月から脳ドックを開設する予定にしておりますので是非ご利用下さい。

済生会明和病院は、済生会創生の「救療済生」の理念に基づき、地域の医療・福祉に貢献していくことを病院理念としております。この理念の下、良質な医療や福祉・介護を提供することが当院および私の使命と考え、更なる努力を続けていきたいと思っております。

皆様のご多幸を祈念致しまして、新年のご挨拶とさせていただきます。